

琵琶湖畔にて「臨時総会」を開催

昨年12月2日（日）、滋賀県の琵琶湖畔に建つ「エクスピア琵琶湖」にて臨時総会（兼忘年会）が開催されました。会場は、会員制のリゾートホテルで、高級感が一杯。今回の参加会員は18名で、大
学からは、柳澤副理事長、波多野学長、藤田総務部長、林総務課長、磯財務課長、飯島総務課員が参加し、美味しい料理に舌鼓を打ちながら懇親を深めました。

学長にバースデーケーキのサプライズ



翌日12月3日は、波多野学長のお誕生日ということので、一次会場において、兵庫県の窪田様より学長にバースデー

ケーキと参加者全員にショートケーキが振舞われるというサプライズがありました。学長も突然のプレゼントとハッピーバースデーの合唱に、ちょっと照れながらも大喜びの様子でした。窪田様、本当に有難うございました。



湖東三山を巡る旅

翌日は曇ひとつない冬晴れに恵まれ、紅葉がまだ残っていればいいなと願いつつ、一行は湖東三山へとバスを走らせます。湖東三山とは琵琶湖の東側に位置する百濟寺・金剛輪寺・西明寺の総称です。

同行した波多野学長は、歴史的な寺院建築の専門家で、国内外の古建築復原などを多数手掛けています。最後に訪れる「西明寺」では、学長からの講義があるということで、皆、学生になった気分ワクワクしながら向いました。

まず最初に訪れたのは「百濟寺」。ひゃくさいじ」と読みます。推古天皇の御代に聖徳太子の御願により創建された古刹で、開創当時のご本尊は、太子自作の「檀木の観音」であったと伝えられています。山門から本堂、庭園と広大な敷地で見応えがあり、特に池泉廻遊式の「喜見院の庭園」は、別称「天下遠望の名園」ともいわれ、頂上からはパノラマの景観を見渡すことができました。

続いて聖武天皇の祈禱寺として行基が開山した「金剛輪寺」へ。本堂に安置された「秘仏本尊 西明寺参道に唯一残った紅葉 聖観世音菩薩」は「生身の観音」として信心されているそうです。そのいわれは、行基が一刀三礼、拝みながら彫刀を進めていると、やがて木肌から赤い血が一筋流れおち、観音様に魂が宿ったとして、直ちにその彫刀を祈り、粗彫りのまま本尊として安置したことからということですね。何とも神秘的なお話ですね。



最後に訪れた「西明寺」は、三修上人が、仁明天皇の勅願により開創され、織田信長が比叡山を焼き討ちした直後に、焼き討ちにあいましたが、幸いに本堂と二天門は火難を免れました。本堂は国宝の第一号に指定されています。

さて、ここで

いよいよ波多野学長の講義の時間がやってきました。西明寺本堂は、屋根は波多野学長より「西明寺本堂の上部にある」といって詳しく解説した。壁が足を踏ん張っているように見える



ため）が数種類あり、建物が増築された歴史を示す大変貴重な歴史的建造物だそうです。詳細はここに書ききれませんが、



建築の専門家の中から見た構造美の素晴らしさを教えてください。また、

帰路、多

賀大社」に立ち寄って、延命長寿や良縁を祈願しました。その後「彦根城」のお堀端を通り抜けてバスは米原駅へ。再会を約束して解散となりました。



新春懇親会が開催されました

1月13日（日）、東京恵比寿の「ウエスティンホテル東京」にて大学・後援会・工友会・宮代



会合同の新春懇親会が開催されました。総勢84名が一堂に会し、新たな年に期待を込めて、祝杯を挙げました。